

TARANAKI AROUND CIRCUIT の原生林を歩く

Y F

◎山行期日：2017 年 12 月 3 日（日）～12 月 6 日（水）

◎全行程：2017 年 11 月 23 日（木）～12 月 11 日（月）19 日間。全行程表及び予算は資料参照。

◎メンバー：YF、T（会員外友人）

今回はニュージーランド（NZ）の北島のトレッキングコースを二つ歩きました。一つは TONGARIRO NORTHERN CIRCUIT、そしてもう一つは TARANAKI AROUND CIRCUIT です。ここでは TARANAKI AROUND CIRCUIT について報告します。

北島は噴火口跡の円形の湖が多い島です。トンガリロ国立公園の北側にあるタウポ湖も巨大な噴火口跡だそうです。紀元 186 年に起きた火山の大爆発でできた湖でこの時代のローマや中国の古文書にも「日中に日が陰ったり異様に赤い夕日が見られた」とこの噴火の影響とみられる記述があるそうです。TONGARIRO NORTHERN CIRCUIT 一帯は火山帯でした。Mt ルアペフ（2797m）や Mt ナウルホエ（2291m）も火山活動は活発で Mt トンガリロ（1967m）は 2012 年にも噴火しています。OturereHut は北軽井沢の鬼押し出しのような溶岩帯の上に建てられていました。

タラナキ山（2518m）は飛行機でオークランドから南島に向かうとき必ず上空を飛ぶのでよくわかるのですが、富士山そっくりの整った円錐形をした独立峰です。最後の噴火が 1775 年だそうです。トムクルーズの出演した映画「ラストサムライ」2003 年はこの裾野で撮影されました。

12 月 2 日（土） ARIKI BackPackers 泊

ニュープリマス（NP）の DOC（Department Of Conservation）ビジターセンターに行き、HUTPASS を買います。このパスがないと山小屋には泊られません。TARANAKI AROUND CIRCUIT は二人で一泊 \$ 30 でした。今回の山小屋は INDEPENDENT WALK（個人ウォーク）で小屋代金のみの支払いです。二人 3 泊で 110 \$（8800 円）です。しかし安すぎるのでおかしいと思っていました。

今夜のゲストハウス（GH）、ARIKI BackPackers

（ノース・エグモントから眺めたタラナキ山）

にスーツケースを預け登山用具や食糧などのパッキングをします。

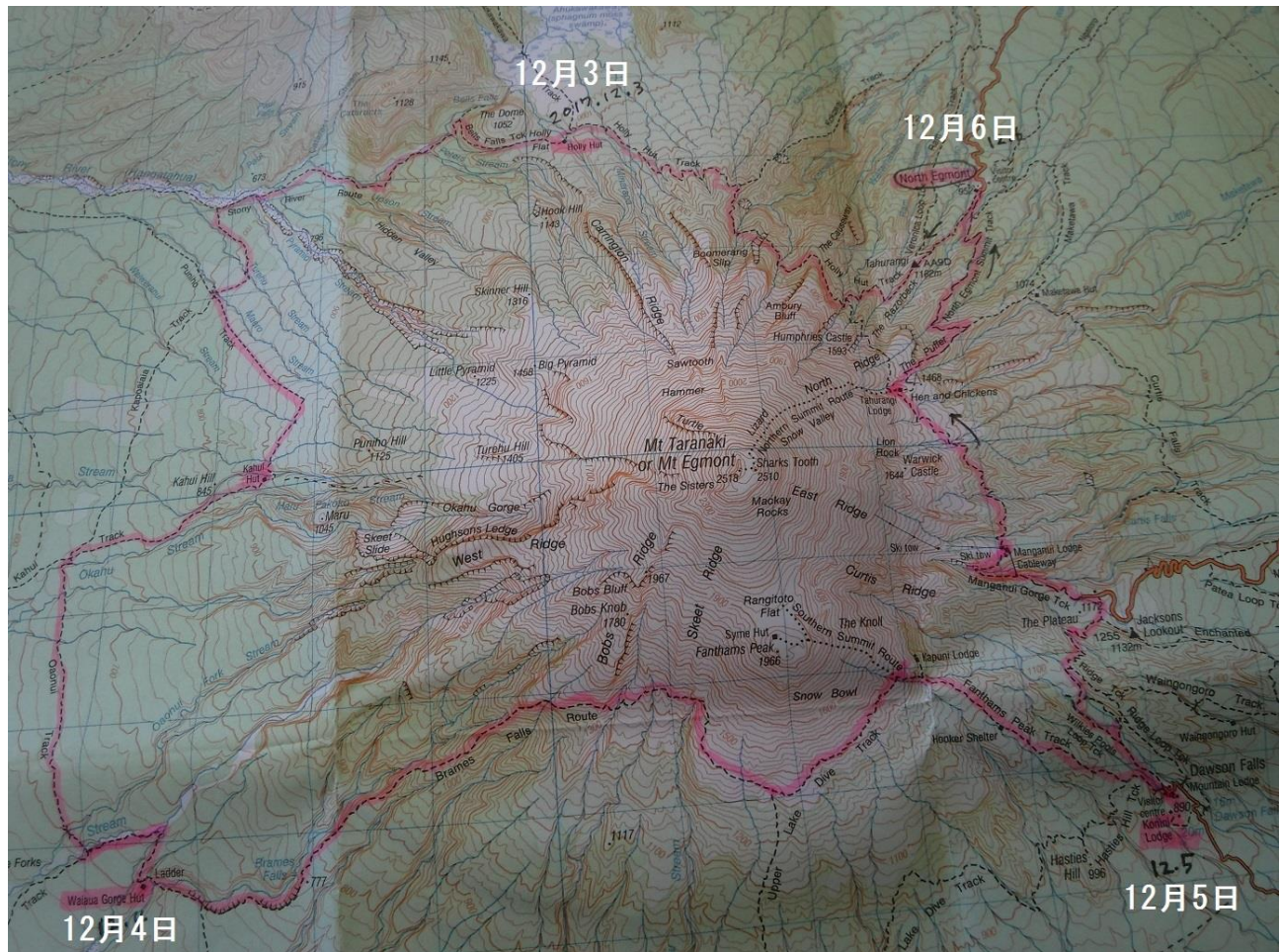


12 月 3 日（日） 1 日目（快晴） HOLLY HUT（1000m）泊

7:00. GH 前に MOUNTAIN SHUTTLE に迎えに来てもらいます。9 人乗りの SHUTTLE で NP から登山口の NORTH EGMONT（NE）の往復で一人 \$ 35 でした。今回はゆったりと 3 泊 4 日分の食料・酒とスリーピングバックを担いで歩きます。

8:00. NE 着。ドライバーに 6 日の夕方 4 時、ここでピックアップしてくれることを確認します。この DOC は立派な建物です。カフェもあり土産物も売っています。小さい博物館もあり、この辺りの自然

や文化や昔のマオリの人々の生活の様子やタラナキ登山史なども展示してあります。「山頂の登山。2300m以上は氷と雪なのでピッケルとアイゼンが必要」「POUAKAI HUT は水が出ないので、十分な水が必要」などと掲示板に書かれています。



原生林の樹林帯が続きます。道は乾燥して歩き易いです。2 時間ほど山を巻きながら歩くと森林限界です。タソック帯（草原や灌木に覆われた所）に出ます。20 人くらいの女子高校生グループが下りてきました。3 人の教員が引率しています。**NZ** ではこのような高校生グループを良く見かけます。**TONGARIRO NORTHERN CIRCUIT** でも 7~8 組の高校生グループと会いました。彼らは基本的にはテントを担いでいます。小屋を使わないでトレッキングをしています。タンクトップに短パンという格好で歩く生徒が多いので、日本とずいぶん違う印象です。そういえば昨年マウントクック・ヴィレッジの **Hooker Valley Track** を歩いたとき男子高校生のグループがやってきて湖の辺で、着ているものを脱ぎ、海水パンツ一丁になり **Hooker Glacier** の巨大な氷がプカプカ浮いている湖の中を泳ぎ始めたことを思い出しました。引率の女性教員は笑顔で生徒の写真を撮る。生徒たちは、はしゃいで巨大な氷の上に登りポーズをとる。何とも日本では考えられない行動をとっていました。**NZ** の人たちは寒さに対して耐性があるのではないかと思います。私が初めて **NZ** に行ったのは 1994 年の 8 月でした。そのとき驚いたのは真冬なのに短パンで街中を歩いている人の多いことでした。食生活が違うのか、その理由はまだ解りません。日本でも寒

中水泳や滝に打たれるなど修行としてはありますが、NZ の人たちは日常生活として寒さを楽しんでいるようです。不思議な国民です。

NZ のトレッキングで安心なのは毒蛇がいないこと。熊がいないことです。日本の山を歩いているとやはり熊に遭遇しないかと心配になります。でも「毒カタツムリがいるので注意」という看板がありました。この場合、食べなければ大丈夫ということなので安心しました。かつて「サーカスの象や牛がこのカタツムリを食べて死んだ」などと解説が書いてあります。写真を見るとゴルフボールくらいの紫色の強力な毒を持ってそうな TUTU というカタツムリです。

13 時。HOLLY HUT 着。樹林帯に囲まれた小屋です。早速ベッドを確保します。ここ的小屋は予約制ではなく早いもの勝ちなのです。ノートの宿泊者名簿をみると先ほどすれ違った高校生グループも昨夜この小屋に泊まっていました。自分の名前とパスの番号を受付ノートに書き込みます。この日はフランス人 3 人のグループとドイツ人 3 人のグループとネルソンから来た老夫婦のみで静かな夜でした。

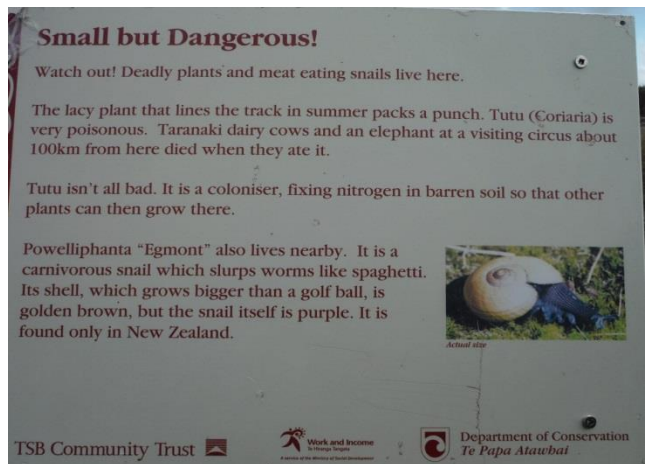
小屋は通常 11 月から 6 月まで HUT RANGER (管理人) が常駐しているのですが。ここ的小屋には HUTRANGER が居ず、調理用ガスコンロもありませんでした。ベッドとマットレスと天水はありました。しかし天水は「沸かして飲め」と表示してあります。水洗ではありませんがトイレは完備しています。たっぷりの薪とストーブがあるので暖房は OK です。私たちはガスコンロを持って行かなかったので友達に借りました。

NZ の HUT は 3 ランクあるようです。①GREATWALK。②STANDARD。③BASIC。①は人気のあるコースの HUT で、NZ に 9 つあるコースの HUT だそうです。予約も難しく、昨年訪れたルートバーントラックやミルフォードトラックもその一つだそうです。一人 \$ 70。Holly HUT は③のようです。一人 \$ 15 です。薪ストーブを焚きます。炎の揺れる光が部屋を照らします。炎の揺れは眺めているだけで気持ち良いです。薪ストーブを堪能しました。

12 月 4 日 (月) 2 日目 (快晴) WAIAUA GEORGE HUT (600m) 泊

6:00。パッキングし、朝食・昼食のサンドイッチを作ります。

7:00。トレッキング開始。今日の道は山の北側を巻く道です。ここは今まで歩いた NZ の中で最も原始に近い道でした。倒木が多く、その倒木を倒したまま処置もしていない。倒木を避けるように道が作られています。今まで歩いたことのない原生林です。苔やサルオガセなどに溢れ原始の森です。沢も多く、渡渉を強いられます。沢も深く、20m~30mの階段を下りてから川に出て渡渉する場所も幾つかありました。湿地帯が続きます。NZ 特有の木道もここには無く、昔の NZ の自然は凄かったのだなあと大満足



(毒カタツムリに注意!)



(HOLLY HUT)

しました。

9:00。広い川原に出ます。ここから雪を被ったタラナキ山が展望できます。BF。今日のコースを歩いているのは私たち2人と南島のネルソンから来た夫婦だけです。これだけの広大な空間にたった4人とは贅沢です。TARANAKI AROUND CIRCUIT は時計回りと反時計回りのどちらでも良いのですが、私たちは反時計回りを選びました。

11:00。KAFUI HUT 着。この小屋も無人です。天水は潤っていました。ベッドは7つの小さな小屋です。更に原生林の中を歩きます。それにしても今回は晴天でラッキーです。道は泥濘、いくつかの沢を渡渉します。かなりの水量があります。これで天気が悪かったら、今回のトレッキングは無理だったと思います。これらの沢は雨天で渡るには危険すぎます。



(原生林の森を歩く)

14:40。WAIUAU GEORGE HUT 着。HUT RANGER は居ません。約7時間30分のBIG DAY WALKでした。早速濡れた靴と靴下を脱いで乾かします。シュラフも乾かします。天水も充分あります。遅いランチを頂きます。パプリカ・チーズ・胡瓜にハムサンドイッチ。NZの赤ワインが腹に染みます。15:00にオランダ人のカップルがやってきました。彼らは時計回りで歩いています。昨日はここから7時間ほど南にあるLAKE DIVE HUT からから来たそうです。17:00にネルソンの老夫婦が到着しました。彼らは途中で道に迷い、大変だったと言いました。確かに一ヶ所、川を渡るとき向こう側の道標のオレンジマークを見つけ辛い所がありました。無事に辿り着いて良かったと乾杯しました。

その後、10人ほどの高校生のグループが到着しました。引率教員は2人。彼らも時計回りです。NZの高校生は無駄口をたたかずてきぱきと自分の回りの処理をしていきます。天水も生でごくごく飲み、気持ちよいです。ベッドは空いているので自分の場所を確保しています。朝起きたら、小屋の前の広場にシュラフを広げ4人の生徒が寝ていました。タラナキ山を眺めながら気分の良い夜だったでしょう。

12月5日(火) 3日目(快晴) KONINI LODGE (1400m) 泊

6:00。起床。歯みがき、トイレ、BF。サンドイッチを作ります。7:00。出発。爽やかな日差しです。歩き始めると、すぐに徒渉。垂直の梯子ときつい登りの沢を幾つか渡ります。

10:00。やっと乾いた心地よい登り道が続きます。雪のタラナキ山が左側に迫ってきます。急な崖下の道を通り抜けます。落石に注意しながら足早に抜けます。森林限界を超えると、タソック帯に出ます。展望が開けます。タスマン海が下に広がる開放感のある道になります。右下の方にオランダ人のカップルが昨夜泊まったLAKE DIVE HUT が小さく見えます。



(100mの崖下の道)

この道は昨日と全く違いタラナキ山の南側の乾燥した道です。展望もあり、約8時間の **BIG DAY WALK** です。溶岩流がよくわかる道です。昨夜の高校生達はこの道を9時間かけて歩いたと言っていました。



(←タスマン海を臨む)

(↓タソック帯を歩く)



12:00。雪溪から流れる水場がありました。この水は冷たくて美味しく甘露でした。のどが渇いていると感じていましたが、250mlのシェラカップで3杯の水を一気に呑み干したのには自分でも驚きました。久しぶりに命の水のありがたさを再確認しました。下界では水なんて当たり前に飲めますが、生きていることを実感できることに感謝です。この辺りの道は昨日と全く違い、原生林がありません。一つの山を巡るトレッキングコースでこんな豊かさを感じられることは素晴らしいです。

15:00。タスマン海の展望を満喫しながら **KONINI LODGE** に到着です。タラナキ山の東側です。無人です。このロッジは素晴らしく。清潔な皿やコップやナイフフォークも十分に使えます。ここは駐車場もあり **TARANAKI AROUND CIRCUIT** のもう一つの出発地でもあります。昨日の高校生達はここから出発したのです。天気も良く、シュラフと靴を乾かします。ふわふわのシュラフは寝心地が良く、昨夜は熟睡できました。夕食の準備をしているとネルソンの老夫婦が到着です。彼らは **NZ** のトレッキングが趣味だそうです。今までに200以上ものコースを歩いていると言っていました。彼らにはガスを借り、お世話になりました。今日はスコッチを分けていただきました。お礼にブリーチーズを差し上げました。昔日本に行ったことがあり、北海道や高山が印象に残っていると言っていました。

単独行の老人が来ました。彼は78歳。一人で黙々と食事の支度をしています。この国にも山が好きな老人がいるのだと安心しました。途中の山道ではお年寄りをあまり見かけなかったのがホッとしました。「こにちわ」と挨拶を返してくれました。熱いシャワーを浴びることができなかったのが残念ですが、熟睡しました。

12月6日(水) 4日目(快晴) ARIKI Back Packers 泊

6:00。起床。歯みがき。トイレ。オレンジとホットチョコレートの **BF**。いよいよ最終日です。今日は昼に **NE** に着くので気分が楽です。

7:00。出発。強烈な夏の日差しです。あまりに暑いのでバンダナに水を浸し頭に乘せ帽子を被ります。

気化熱で随分涼しく感じます。タラナキ山の東側は開発がすすんでいます。木道や橋もしっかりとしています。沢を幾つか渡りますが源頭なので水が無く、楽です。途中、スキー場がありました。**MANGANUI** という大きな **LODGE** もありました。リフトは3本ありました。今は閉鎖中でした。日陰のない道が続きます。暫く歩くと **TAFURANGI LODGE** がありますこのロッジはプライベートロッジで地元の山岳会所有のものでした。一階は一般開放されていましたが二階は鍵がかかり入ることはできません。

12:30。NE の **DOC** 着。靴を脱いで、カフェで昼食。久しぶりの巨大ハンバーガーは腹を満たしてくれました。この後、**SHUTTLE** が迎えに来るまで読書をしたり、映像を見たり展示物を見学して裸足でゆっくり過ごしました。

17:00 に **ARIKI BackPackers** 着。山の北側から西側にかけてのもの凄い原生林地帯。西側から南側のタスマン海を遙かに眺めるタソック帯。山の東側のトレッキングルートが整備されている変化に富んだコースを無事に歩き終えたことに感謝し、トルコ料理屋でTさんと乾杯しました。

翌日はNPの「**THERUMAL SPA**」に行きました。北島には温泉が多く、ここは1906年に地下1000ftからくみ上げた110年前からの湯だそうです。五日市の「つるつる温泉」のような湯で飲むと少し塩分を感じます。個人浴室料金はNZD33で温まりました。NPの町は海岸沿いが美しく高級な家が海沿いに建っています。温泉に入った帰りにこの **Coastal Walk** を歩いて帰りました。近くの間にはクルージングをする人たちが溢れていました。ボートを車で引いてやってきます。そしてそのボートを海に浮かべ釣りをしています。今は鯛の季節だそうです。60cm位の鯛の釣果を見せてもらいました。海で楽しんでいる人も多いアウトドアの国だなと改めて感じました。

自然も多く豊かな国 **NZ** ですが、オークランドの街を歩くと昨年に比べてホームレスの姿が増えています。若者が多く、裸足でスーパーマーケットの前などに佇んでいます。一体どうしたことでしょう。消費税を15%も取っているのに就労のケアなどは行き届いていないのでしょうか。心配になりました。私の友人は **NZ** で3人の子育てをしましたが、子ども手当が十分に出るので就職しなくても生活できていました。それだけ福祉のケアが充実している国だったのですが、そのシステムが崩壊してきているようです。この国でも貧困問題が大きくなっているのだと感じました。しかし朝早くから働いている人たちの姿を見ると逞しさを感じます。この国には引きこもり問題は無いと聞きます。

これから更に発展する力を感じる **NZ**。原発が一基もない、自然エネルギーの国 **NZ**。お世話になった多くの方々に感謝します。(2018年2月記)

今回の日程表とトレッキング費用を以下に載せました(2人分で計算)。

(資料・宿泊費用・飛行機代金・バス代金・食料・酒・その他)

日程	行程 (BUS 交通費)	宿 泊 先
11月23日	HND19:30—BEIJIN22:30 CA0168便	
24日	BEIJIN01:05—AUCKLAND18:10 CA0783便 SKYBUS NZD 36	Barclay Suites AUCKLAND NZD243
25日	AUCKLAND9:00発→Turangi14:54着 NZD 76 Turangi—WhakapapaVillage 往復 NZD 160	Skotel Alpine Resort NZD75
26日	Tongariro Northen Circuit① 5,5H	Waihohonu Hut NZD72
27日	Tongariro Northen Circuit② 3,5H	Oturere Hut NZD72

28 日	Tongariro Northen Circuit③ 6H	Mangatepopo Hut NZD72
29 日	Tongariro Northen Circuit④ 5H	Skotel Alpine Resort NZD190
30 日	Silka Rapids LoopTrack 2H	同上 NZD190
12 月 1 日	Whakapapa Village→Turangi Turangi10:50 発→Malton13:34 着 Malton 13:45 発→New Plymouth16:50 着 NZD79	Ariki Back Packers NZD75
2 日	Coastal Walk 3H	Ariki Back Packers NZD75
3 日	NewPlymouth (7:10 発) →NorthEgmont 往復 NZD70 Taranaki Around Circuit① 4H	Holly Hut NZD30 予約不要・ガス無し 32 ベッド
4 日	Taranaki Around Circuit② 7, 5H	Waiaua George Hut NZD30 予約不要・ガス無し 16 ベッド
5 日	Taranaki Around Circuit③ 8, 5H	Konini Lodge NZD50 50 ベッド
6 日	Taranaki Around Circuit④ 5H NorthEgmont (16:00 発) →New Plymouth	Ariki Back Packers NZD75
7 日	Thermal SPA	同上 NZD75
8 日	New Plymouth8:10 発→Bulls11:24 着 Bulls11:40 発→AUCKLAND20:25 着 NZD74	Best Western President Hotel AUCKLAND NZD151
9 日	自由行動	同上 NZD151
10 日	SKYBUS NZD 36 AUCKLAND20:00—BEIJIN04:30 CA0784 便	
11 日	BEIJIN09:10—NRT13:40 CA0925 便	

《経費》

飛行機代金 2人で約 160,000 円

宿泊代金 2人で約 NZD 1751＝約 144,000 円

交通費・BUS 2人で約 NZD531＝約 44,000 円

食料・嗜好品（個人分は除く）2人で約 NZD630＝約 52,000 円

合計 2人で約 400,000 円

(了)